

図鑑で調べたら、

トキワセでした。

庭先で見つけ、刈らないうちにお願した草は、

おおばこ 植田町の自然探し・192 2021.6.8,

早い梅雨入り、東海地方は5月16日～生物暦

気象庁としては、2番目の早さの、東海地方、5月16日の梅雨入りに入った様です。

(統計史上、一番早かったのは、1963年5月4日) 樹や草の開花は早く進みましたか!

夏鳥の渡りはちょっと遅かった様です。スタジイの開花は、以前は5月に入ってからの記録でしたが、2015年から4月開花の記録が出る様になってきました。一方でホトトギス(鳥)はビラ



8mm

トキワセ



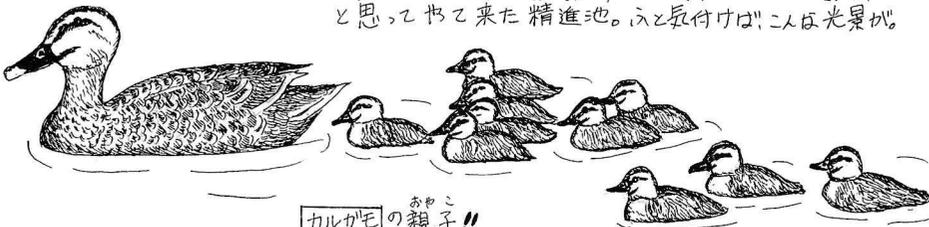
きらく

かんざつ種別/年報	2016	2017	2018	2019	2020	2021
スタジイ開花	4/29	5/2	4/23	5/3	5/5	4/20
ノアザミ開花	4/18 5/24	5/24	5/24	5/23	5/29	5/22
ホトトギス通過		5/30	5/14	5/21	5/12	5/25
トシホシタマウ初認	5/31	5/28	5/21	5/30	5/29	5/25

なのかなあ? と思って  
いた5、5月25日深夜の頃  
45分頃、自宅外から一声。  
「特許許可局...」  
ようやく初夏が来た!  
という感じです。

うわあ~~~~!! カルカモの親子連れ!!

5月15日、この日の近所廻りでは、あまり鳥を見ないね~  
と思っただけ来た精進池。ふと気付くは! 二は光景が。



カルカモの親子!!

カルカモの親子と、何と! 10羽の生まれて間もない  
子ども達です! うわあ~~~~!! 大分前に、もう少し成長した子カモは見  
ていまるか、こんなには小さいのは初めて。昔、東京の三井物産ビル人工池から、皇居の池まで  
お引越するカルカモ親子のために、早朝、車の通行止めをして警察官の方の誘導の元、  
皆で見守る様子がニュースになっていました。植田では、子と普通に人知れずに色々な  
場所へ子育てしている事では。これからも... 無事大きくなってね!!!  
※通信 No. 191 の訂正 X ツバメの初認が、24年続きで4月中旬に → 03月中旬に  
(左側下、生物暦を) 3月末までのか、中旬へと早くなっていますよ? すみませんでした

Noriko M.

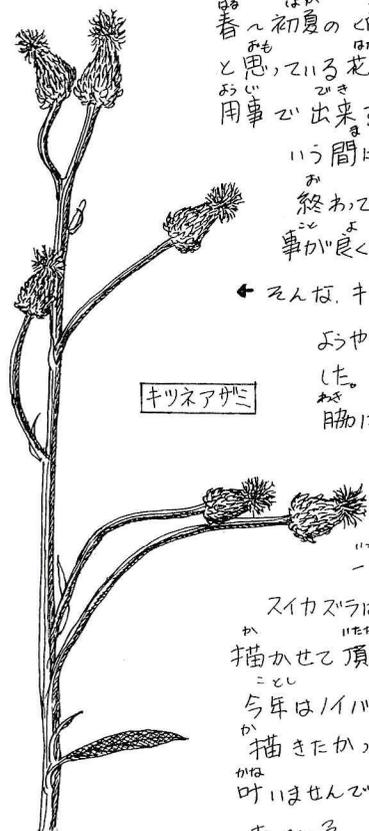
何回か描いている花と、

初め描けた花

春へ初夏の頃は、描きたい、  
と思っっている花があても、色々な  
用事で出来ずにいると、あ、と  
いう間にその花が  
終あてほう、という  
事が良くあります

← そんな、キツネアザミ、  
ふやく描けま  
した。4月に道路  
脇にあります。

キツネアザミ



一市、こさの →  
スイカズラは、何度か  
描かせて頂いてますね。  
今年はイバラを  
描きたかったのに、  
叶いませんでした  
た~~~~



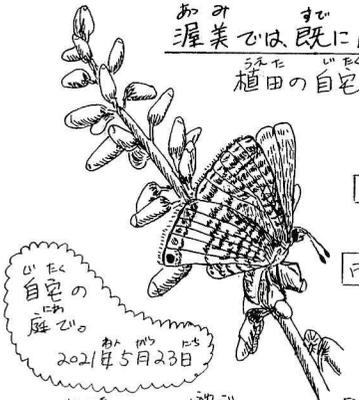
スイカズラ

渥美では既に越冬の様ぞ。  
植田の自宅では、5~6月に、二数年現れていまる。  
ウラナミシジミ。

クララに  
と止まる、

ウラナミシジミ

自宅の庭で  
2021年5月23日



発行: 牧野 紀子 (もり~ゆ)  
豊橋市植田町宇南柄沢43-2  
<http://morigaiutekisizen.hatenablog.com/>  
今年はマクワやビワの実が成る  
のも早いです。  
ビワの実中極の製は豊作です。

本来は、9月秋から現れるキョウリですか、暖かい  
地域では冬越しできる様で、渥美半島では、どうやら冬を越せる様になつて来たり。  
(齋竹善行さん、吉鶴靖則さん、情報提供) やほり温暖化かな~?